

**S808-CF4**

EURO WINKER / QUICK HAZARD SYSTEM

この度は弊社製品<シエクル808(ハチマルハチ)>をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

**使用・調整はお客様の自己判断、責任においておこなって下さい。この製品及び付属品の誤った使用や改造をおこなった場合、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

**危険**

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者に点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。

**警告**

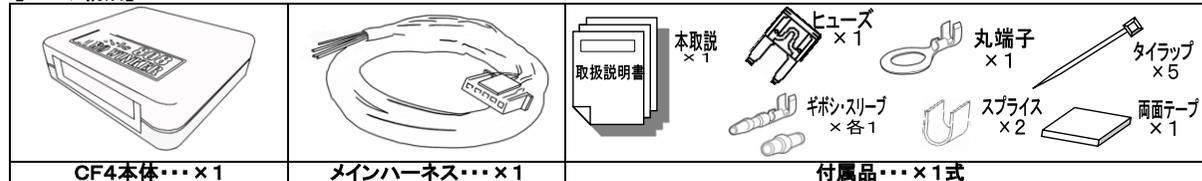
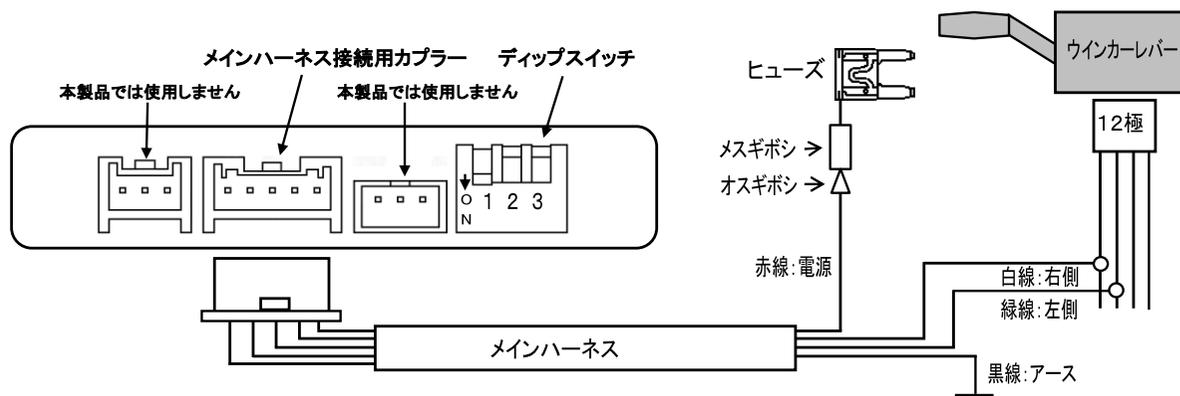
- 本製品は車両電源がDC12V専用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因となります。
- カプラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカプラーを持って取り外してください。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

**注意**

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

**【主な機能】**

本製品はレーンチェンジ時にウインカーを軽く出したときに3回(設定により5回)自動にウインカーが点滅する(ユーロウインカー機能)製品です。3回(設定により5回)点滅後は自動で消灯します。(右左折時のウインカー操作には作動しません。)

**【パーツ構成】****【各部の名称と配線略図】****【取付手順】**

- ①ハンドルのコラムカバーをはずしてウインカーコネクタを確認してください
- ②ウインカーレバー横にある12極のコネクタを抜きます。(図1)
- ③別項の適合表に記載してある配線色にS808の白線と緑線をそれぞれスプライスにより接続します。(図2)
- ④スプライスの周りを絶縁テープなどで保護します。
- ⑤イグニッションONで12V発生するヒューズを探して交換します。(図3・図4)
  - \*イグニッション12V線が見当たらない場合はACC12Vでも可
  - \*配線接続でも可

⑥S808の黒線を付属の丸端子を使って金属の部分に友締めしてボディアースします

図1

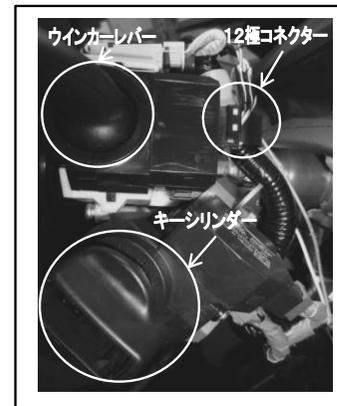


図2



図3

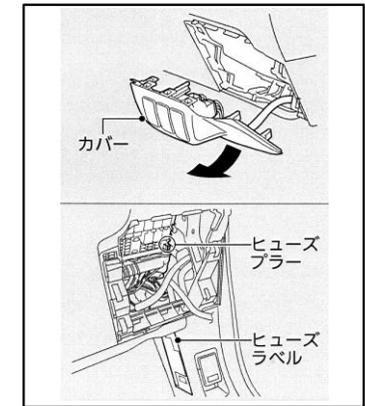


図4

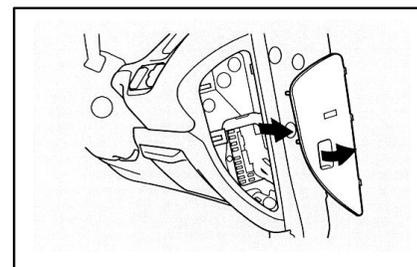
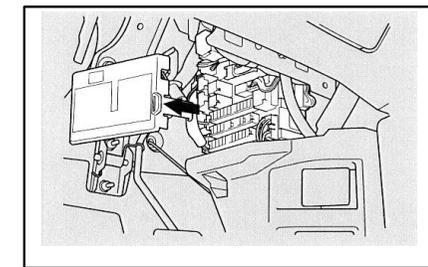


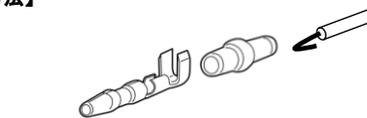
図5

**【スプライスの使用方法】**

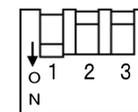
- \*配線の適当な場所の被服を5mm程度むきます。
- \*S808の配線の先を10mm程度被服をむき、車両配線へ巻きつけます。
- \*スプライスを接合部にあて、圧着ペンチでかします。
- \*ビニールテープにて接合部を絶縁します。

**【丸端子の使用方法】**

- \*配線の先端を10mm程度被服をむきます。銅線を半分に折り返してください。
- \*半分に折り返した銅線を丸端子の首部分で圧着し、被服部分を丸端子の後側で圧着します。

**【ギボシの使用方法】**

- \*配線の先端を10mm程度被服をむきます。銅線を半分に折り返してください。
- \*配線にスリーブを通してからギボシを付けます。
- \*半分に折り返した銅線をギボシの首部分で圧着し、被服部分をギボシの後側で圧着します。

**【ディップスイッチの役割】**

- ◎ディップスイッチは下におろすとONになります。
- ディップスイッチ1 はユーロウインカーの点滅回数の切り替えです。
  - OFF(上)→5回 ●ON(下)→3回
  - ※お好みで切り替えてください
- ディップスイッチ2 は本製品では使用しません。
  - OFF(上)にて使用して下さい。
- ディップスイッチ3 は808のキャンセルスイッチです。
  - ON(下)にすると808機能のキャンセルになります。通常はOFF(上)にて使用して下さい。

**【作動確認】**

- ①ディップスイッチの設定を確認して下さい。1がON(下)、2、3がOFF(上)
  - ②エンジンを始動して下さい。(イグニッションがON以上でないとうインカーが作動しないため)
  - ③左右どちらかのウインカーを1回点滅させる要領で短く出して下さい。この時にウインカーが3回作動するか確認して下さい。
    - 反対側のウインカーも同様に確認して下さい。
    - ディップスイッチを1、2、3すべてOFFで設定した場合はウインカーが5回作動します。
- ★ウインカーを約2秒ほど出したままの操作をした場合、通常のウインカー動作と判断しユーロウインカーは働きます。

**注意**

④以上で完了です

◎スマートキーが設定されている車種、後付けキーレス(アンサーバック機能付き)KITを装着されている車種は下記の作動確認をしてください

①ドアのロック、アンロック時にアンサーバックが正常に働くか確認して下さい。

#### 【車検について】

ウインカーレバーをロックするところまで動かした場合にはノーマルの作動のため特に問題はありません。

#### 【トラブルチェック】

- ★ユーロウインカーの回数が異なる
  - 規定内の電圧が維持されていないなどの車両の電圧ドロップが考えられます。車両バッテリーが弱っている場合はバッテリー交換をお勧めします。
  - ウインカー速度調整リレーが装着されている場合は、回数が異なりますが異常ではありません。
- ★ユーロウインカーが作動しない
  - ウインカーの配線を間違えていないか、接触不良をおこしていないかや、違うカプラーに接続していないか、など再確認して下さい。
- ★ウインカーが戻った瞬間に反対側のウインカーがユーロウインカーの作動をしまう
  - 車両のディマスイッチの接点がシビアに働いてしまうのが原因です。808のウインカー信号の感度調整が必要になりますので、当社までご連絡願います。

**お願い!** 本製品は性能向上などの理由により取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り扱い説明書を参考に取付作業、調整をおこなして下さい。

Euro Winker S808CF4 適合表				2012.11版	
車種名	型式	E/G型式	年式	ウインカー配線色	
				左	右
インサイト	ZE2	LDA	2009.2~2011.10	若葉	茶
	ZE3	LEA	2011.11~*	—	—
オデッセイ	RB3/4	K24A	2008.10~2011.9	緑	白
			2011.10~*	—	—
フィット	GE6/7	L13A	2007.10~2010.9	若葉	茶
	GE8/9	L15A			
	GE6/7	L13A	2010.10~*		
	GE8/9	L15A			
フィットハイブリッド	GP1	LDA	2010.10~*	若葉	茶
フィットシャトル	GG7/8	L15A	2011.6~*	若葉	茶
フィットシャトル ハイブリッド	GP2	LDA	2011.6~*	若葉	茶
フリード	GB3/4	L15A	2008.5~2011.9	若葉	茶
			2011.10~*		
フリードハイブリッド	GP3	LEA	2011.10~*	若葉	茶
フリードスパイク	GB3/4	L15A	2010.7~2011.9	若葉	茶
			2011.10~*		
フリードスパイク ハイブリッド	GP3	LEA	2011.10~*	若葉	茶
N-BOX カスタム	JF1/2	S07	2011.12~*	薄青	薄緑